

まちの目が
安全・安心を守っています



船橋地区町会・自治会連合会
船橋地区青少年まちづくり推進協議会
青少年相談センター/成城警察署/成城消防署

発行・編集 ミニコミ編集委員会
編集長 齋藤 和子
事務局 船橋まちづくり出張所
電話 3482-0341
2006・9 第76号

ちとせ

今 学校は



希望丘小学校 若菜校長

子どもは地域の方がたと交流すること
で、いろいろな知識、体験を学ぶことが
でき、その中で豊かな情操が育つていきま
す。褒められたり認められたりすることで自
信が付き、次への意欲がわいてきます。大
人もまた、子どもと接することで新たな発
見や、考えさせられることがあるでしょう
。ともに活動する温かい人間関係の中で、子
どもたちは心豊かに育つていきます。この
地域は活動の場がたくさんあり、子どもた
ちは恵まれています。是非、各家庭で積極
的に地域活動に参加させていただきたい
ものです。

本校では、地域の方がたの力で、平成17
年5月に「土曜寺子屋」がスタートしま
した。旧職員の先生方がボランティアで指
導にあたっています。「勉強の仕方がわか
らない」「もっと勉強したい」「友だちと
一緒に学びたい」等など、学年を問わず、復
習を中心に一人一人にあった学習をして
います。また、続けることの大切さ、たい
へんさを学んでほしいと思います。

毎年の避難所訓練では実践力をつけよ
うと、基本にならぬことを繰り返し練習し
ています。リーダーがいなくてもできない
ではなく、避難してきた人で、避難所を運
営できるふつうにと計画的に取り組んでい
ます。

希望丘中学校 松平校長

教育ヒジコンの重要な柱である「地域と
ともに子どもを育てる教育」のもと、可能
な限り学校開放に努めています。学校教育
は学校だけでは完結しません。保護者や地
域の方がたの協力や支援が不可欠です。し
かし、学校である以上無制限に開放するわ
けにはいきません。規制や制限もあります
が、解決策を図りながら地域の方がたに満
足できるように努めています。

本校の美術室には「スハラス」「電気窯」
が設置され、担当教師がそれらを使用し陶
芸を指導しています。当初、長期休業中に
保護者を対象にした「陶芸教室」を実施し
ていましたが、その後、地域の方がたや小
学生も対象に行っています。

現在、本校の選択美術の授業には「陶芸
教室」に参加された方がたがアシスタント
ティーチャーとして生徒を指導してくだ
さっています。人と人とのつながりの輪が
広がっていくのが実感できうれし限り
です。



船橋小学校 吉野校長

学校と地域の交流で新しい学校文化を創りたい
学校は子どもが人間性を豊かにし将来の可能性を開いていくため
の神聖な場であり、大人社会の利害で汚してはならない。

学校活動に不都合が生じたら建設的な意見と保護者や地域の方が
たとの理解と協力で解決していく。

地域交流・開放の目的は？

子どもを育てるには学校の教職員だけではできない。子どもは自
らを高める知力・体力とそれを取りまく環境の交点で生きている。
未来を担う子どもを育てるには、地域社会との交流や協力は不可欠
である。吉野校長は「幸い本校は地域の皆様の温かい善意に支えら
れていて感謝の気持ちでいっぱいです。とりわけ昨年度もたくさん
の方にご協力を賜り本当にありがとうございました。この地域で育
った子どもたちが地域の人びととの交流や協力の大切さを次世代社
会へ伝えていって欲しい。学校は、学校と地域の交流で新しい学校
文化を創りたい。」と言われた。

地域開放・交流の方法は？

すでに行なわれているものに、家庭開放がある。それと去年から
始まった、避難所運営宿泊訓練が地域と一緒に始まっている。この7月15日からは新たに地域のニーズに合った図書室開放が始まった。これは毎週土・日曜日の午後1時から開かれている。親子でも、友だち同士でも、祖父母とでも、一人ででも来て本に親しんで欲しい。誰かと一緒に来ることによって、そこからも交流が始まる。そして部屋は快適な空間になっている。

二年ほど前から「子どもぶんか村」が出来ていて、地域公立五校の児童生徒・教師と地域の方がたの協力で活動が続いている。

これらの活動を通して言えることは、色んな人びととの交流の場が生ずると言うこと。図書室での交流なら、書物を一つの核としながら交流と体験と書物の関係を培って欲しい。

将来に向けて、地域への要望は？

町会・地域の方がたの善意の支援に感謝している。今後もよろしく
お願いしたい。学校施設の使用については、地域の方がたの使い
易いように努めていきたい。

船橋中学校 岡田校長

学校とは、学問・芸術に関する地域文化
の中心であり総合的に学ぶ場である。

その面から学校は門を閉ざすのではなく、
中・高等学校のようにはなく、地域に開かれ
た学校にしたい。

生徒と地域との直接交流もできることな がら、施設活用面で地域の方がたに使い 易くしたいと努めている。勿論生徒の使用 が優先される。施設の開放は、けやきネッ トに登録済である。

「子どもぶんか村」では文化交流と学校
開放もしている。又、地域文化づくりの一
役を担う趣向で「サイエンス アドベンチ
ャー」教室を開いている。また、今年でもこ
そといっしょで5年前から始めた。科目は
生化学、数学、理科で、この教科の

楽しさが分らない生徒や、本来自由に
できない実験をしたり、自然に親しむ生活
をベースに行っている。

本当の豊かさを伸び伸びと味わい、理解
できていない部分を補って貰いたいこと
願いを込めている。

将来に向けて、地域への期待
地域の人びととコミュニケーションを創り、障
害を抱えている子どもたちを共働(相互作
用)して育んでいきたいと願っている。それ
には地域コミュニケーションの構成メンバーの
中にも、男性も加わり関心欲しい。今、お
やじの会(OB)ができていて、ハレーポ
ールをしている。団塊の世代が2007年
問題として話題になっている。企業を去
ったその力を是非コミュニケーションへ向
けて、豊かで安全・安心な地域社会づく
りを共働で創っていききたい。

千歳台小学校 矢崎校長

学校の地域開放
直接学校に申し込まれているものは、
家庭での千歳台の子どもたちが
サッカー・少年野球。

希望丘中学校



船橋小学校
希望丘小学校
千歳台小学校



希望丘中学校



手コトといひ話

〇〇校長先生のお話
「イルカやゴリラはことば
(言葉)を持っていないんだよ
ね。君たちも知っていると思
う。しかし、イルカやゴリラ
は、文字はもっていないん
だよ。文字は人間だけが持
っているんだ。文字を通して
多くの人の実体験を知ること
ができるんだ。」

私自身が忘れていた教
え、改めて人間の凄さを知
り、大人も子どもも「読み
書き」の大切さを痛感しま
した。

《目に見える形あるものは
何時か失う時がある。がし
かし長期にかけて養われた
知性や教養は失うことがな
い。》の言葉は、昔、親に言
われたことを思い出しまし
た。

私自身反省すると共に、
向上心をもたなければと堅
立てられるおもいでした。
先生に感謝



「あかちゃんカフェ」誕生！！

初めての育児で心配や不安があったり、家庭の中に閉じこもりがちになったり、あかちゃんは可愛いけれど大人の会話も楽しみたい・・・そんなお母さんも元気いっぱい子育てを楽しんでいるお母さんどうぞおストレス解消、友だち作りをいらしてください。

対象年齢： 0歳から1歳未満

いつ： 毎月第1木曜日 午前10時～12時

どこで： 船橋地区会館

会費： 一回100円

内容 お茶を飲みながらおしゃべり 情報交換

問い合わせ先 石川キミエ 3482-9495

明石 真弓 090-3474-3473

砧地域社会福祉協議会事務所 3482-6711 担当 中山

※この会は世田谷区社会福祉協議会のふれあい・いきいきサロン事業の「子育てサロン」として活動しています



まちの安全はやっぱりご近所から

地域の安全を守るには、土田成城警察署長が「せたがや町総連だより」のインタビューに応じ、最近の犯罪状況をふまえて、防犯に今なにか必要なかを述べられている一部を抜粋します。

☆ 地域の安全について？

犯罪が国際化する原因の一つに、隣近所の連帯意識の希薄化が大きい要因だと思ふ。

携帯電話・インターネット等による弊害が生まれ、顔が見えなくとも生きていく。(匿名化が進んだ結果)

個人尊重が違った形で広がっている。

このようなことが、治安面の悪化に繋がっている。

☆ 地域の安全を高めるためには？

① 警察から一歩踏出しているかも知れないが、町会・自治会の加入率を上げることが大事。色いろな情報を発信しても約半分しか届かない現状がある。

② パトロール強化と防犯カメラの設置の推進が必要。

☆ 子どもの安全について

防犯カメラの設置、下校時には各方面が連携してパトロールを強化する。

☆ 町会・自治会の加入率について

加入率を引き上げる意味は、自分の町は自分たちで守るという意識付けを、一人ひとりに持って貰うことであり、それには隣近所の連携が必要である。

土田署長のご意見は如何でしたか？皆さまとともにこの町の環境をつくっていきたくと思っています。



すてきな地域文化

心なほし在住の方なら周知の「子どもぶんか村」これに関わるすべての方がたに感謝をしたい。

誕生して1年10ヶ月の今年、3月26日に、於船橋中学校で合同発表会が催された。

六つあるクラブの、地道な体験の発表作品が並んでいた。目を見張る作品ばかり。そして青少年少女たちの舞台発表や何人かの先生の生演奏、合唱の賑し出すハーモニ、時空の共有の喜びに胸が熱くなった。拍手は何時までも続いた。(平成十八年度から七つのクラブになりました。)

この地域の青少年少女の文化育成、地域の文化の息吹に関わってくださったすべての方がたの、美意識の素晴らしいに感銘を受けています。ますますのご健勝と活躍を、ご指導をよろしく願ひあげます。微力ながら応援いたします。(船橋在住 S)

地域の安全劇場パート2

子どもの安全は？
学校は、親は、地域は、警察は？
千歳台小学校
矢崎長明校長先生に聞く

矢崎校長先生は全国学校安全教育研究会常任理事・東京都学校安全教育研究会研究部長でもあり、学校の安全問題に常日頃から取り組んでおられます。文部科学省の出版の「学校への不審者侵入時の危機管理マニュアル」学校の安全管理に関する事例集「執筆・編集委員でもあります。硬い任務にあってもなぜかスノーピーが好きなんです。校長先生でした。

◎ 子どもの安全のためにこのよ
うな対策をされていますか？
○ 区の危機管理室と警察から受けた情報をもとに校長室から学区域内に不審者情報メールを発信しています。登録手続きは希望者となりますが、本校では父母の37名、約80%の方が登録し活用されています。

○ 下校は、一定の時間帯(10分位)に決めて、児童は一斉(学年や曜日により異なる)に帰宅させています。
○ 「保護者が自分の子を守る」という意識がとても大切なので、保護者の送迎はおおきに歓迎しています。
○ 警察による「セーフティ教室」を実施し児童の安全への意識と実践力を高めています。
○ 「子ども安全ボランティア」結成・初会合が7月に開かれました。
◎ 地域町会に呼びかけ
最近、地域の組織が薄くなってきているように学校側からは地域・町会・自治会等が見えにくくなっています。地域力の強化が必要で。
登下校に警察のパトロールを徹底してもらえば一番効果は大きいですが、もちろん経費の問題はついてまわります。

◎ 最後に矢崎先生は、情報ネットの問題をあげられました。
★ 「もはやケータイはただの携帯電話ではない」携帯パソコンで、子どもは新しいものに興味を持ち、道具にもすぐに慣れ、吸収習得が早い。本当に子どもを危険から護るには、大人も負けずに内容を知り、理解する努力を怠ってはならない。
★ 小学生でもネットの掲示板やブログも簡単にアクセスでき、匿名で書き込みもできるので、どんなのめり込んでしまえば情報を受け取ることもある。例えばホームページから有害サイトにながったり、ゲームで多額の料金を請求されたりするケースもある。
▲ 「もはや日本は安全な国ではない。学校であっても同じ。今「学校安全神話」は無い。保護者の危機意識、地域全体で子どもを守るという意識が大切です。」
★ 親と子でインターネットやケータイのことについて楽しく学べるホームページを教えてくださいませんか。

- 総務省：情報通信白書 for Kids <http://www.kids.soumu.go.jp/>
- 警視庁：インターネット安全・安心相談 <http://www.cybersafety.go.jp/>
- キッズ・パトロール <http://www.cyberpolice.go.jp/kids/>
- モバイルひろば for kids <http://www.nttdocomo.co.jp/corporate/kids/>

★ご協力ありがとうございました★
日赤資募集(5月)
皆様の善意のご協力で
1,722,767 円 集まりました。
《日赤船橋出張所分回》

<http://www.city.setagaya.tokyo.jp>

★船橋まちづくり出張所人事異動★
【転出】
小山田主任・・・砧総合支所 健康づくり課へ
江川出張所嘱託員・・・任期満了【転入】
中里主任・・・世田谷総合支所 地域窓口調整担当課から
近内出張所嘱託員・・・
新代田まちづくり出張所から
高井出張所嘱託員・・・新規採用
★船橋まちづくり出張所に「AED」自動体外式除細動器が設置されました。緊急の際は「ご利用ください。」
★ 学校給食コンホスト好評配布中
学校給食から出る野菜くずや残菜を一次発酵させた肥料です。ぜひ「ご利用ください。」

編集後記

新しい編集委員が決り、年齢のバランスのとれた陣容で動きだした。ホットな情報やほっとする内容の記事など、この町に住む方かたとの間接的会話を夢みている。最近私が関心を引いた言葉に、「熟読デモクランシー」がある。小人数の会合や親子の話し合ひにこそこれが活かされた。意志疎通に拠る新しい道が啓けぬ気がたつ。

町の安全安心も、このあたりが出発点かも知れない。皆さんのご意見をお待ちします。

平成18年度「ちとせ」編集委員の紹介です。

- 【顧問】 駒井淳子
- 【編集長】 齋藤和子
- 【副編集長】 下郷平三郎・松尾三奈
- 【委員】 古我照彦・長谷川妙子
- 関口美枝・若垂淑子・松本静代
- 浅香昌子・高橋伸子・富井良子
- 伊藤清美・村越朱美

ぜひ「お願ひいたします。」

子どもぶんか村

ジュニアオーケストラ
第4回定期演奏会

10月29日(日)

ジュニアコーラスコンサート

12月2日(土)

いずれも・・・

於：船橋小学校多目的ホール

詳細は でお知らせいたします。